

▼それぞれに有明海の干潟を
楽しんでいる子どもたち



晴天のもと、今年もにぎわいました！

第7回マジック釣り大会

7月24日（土）、荒尾漁協沖合いで、第7回マジック釣り大会が開催されました。当日は晴天に恵まれ、県内外から例年より多い566人が参加しました。

マジック釣りは筆を使用する荒尾の伝統的な漁法で行われ、大会では漁協関係者や市の職員が参加者をサポートしました。初めのうちは悪戦苦闘していた参加者でしたが、コツをつかむと次々とマジック釣りを釣り上げ、歓声を上げていました。

強い日差しの中でしたが、干潟では時折拭く海風が心地よく、救護係も出番なく無事に終了しました。

▶マジックの試食をテレビが取材。お味はどうですか？

◀麦わら帽子がとってもお似合いです！



有明海から海難事故をなくそう

三池海上保安部と有明海小型船安全協会の
合同海上パトロール



海上で網を使ってリーフレットなどを配布し、ライフジャケットの着用などの啓発を行った。

7月31日（土）、有明海の「海難ゼロ」を目指して、三池海上保安部と有明海小型船安全協会が合同海上安全パトロールを実施しました。

三池海上保安部の巡視艇と有明海小型船安全協会の海上パトロール艇5隻に海上保安官と海上安全指導員など24人が乗り込みました。三池港を出港して島原新港沖などをパトロールし、プレジャーボートにリーフレットなどを配布して海難防止について呼びかけました。

有明海は、荒尾市民にとって身近な海。昨年は12隻程の船による海難事故が発生しています。事故を未然に防ぐことはもちろんのこと、もし海で事故が発生したら「海の緊急電話118番」を活用しましょう。

「こくんぞさん」にあわせて 三池港灯台を一般公開します

通称 四ツ山灯台

昭和26年12月の点灯開始以来、有明海を航行する船舶の安全を見守り続けている三池港灯台に登ってみませんか？

- 日時 9月13日（月）午前10時～午後3時（雨天中止）
- 場所 荒尾市大島 三池港灯台（通称：四ツ山灯台、四ツ山神社横）
- 内容 灯台施設内の一般公開（入場無料）、灯台の機器、電球および灯台写真パネルなどの展示、海上保安庁のビデオ放映、三池港灯台の塗り絵展示

【問】三池海上保安部交通課 ☎0944-53-0526



大切に育てたカブトムシを一人ひとりに大事に手渡す。

大きなカブトムシ、ありがとう！

～清里元気づくり会がカブトムシを贈る～

7月23日（金）、清里保育園で清里元気づくり会が、清里保育園の園児36人にカブトムシをプレゼントしました。

このカブトムシは、平成20年から同会のふれあい部会が中心になり、ビニールハウスを使用して幼虫から育てています。

園児たちは自作のペットボトル容器にカブトムシと餌のゼリーを入れてもらい、黒く光る立派なカブトムシを手にして目を輝かせていました。

まちの課題を市長と語る

～桜山校区と三小校区で「まちづくり談義」～

7月29日（木）に桜山中央集会所、8月5日（木）に万田東公民館で、それぞれ「市長とまちづくり談義」が開催されました。これは市長が地域の皆さんと直接語り合い、市政への意見や提言をいただくものです。

市長と総務部長から病院と競馬に関する説明などが行われた後、それぞれの地域の公園や道路の整備についてなど、地域の課題について意見が交わされました。

上||桜山集会所の様子 下||万田東公民館の様子 たくさんのご参加、ありがとうございました。



人を助ける医療の仕事が将来の夢

～高校生の1日看護体験～

7月29日（木）、市民病院で高校生の1日看護体験が行われました。この看護体験には高校生13人が参加し、ユニフォームに着替えて院内を見学した後、各病棟で実際に患者さんと触れあい、身体を清める清拭や足浴、シーツ換え、血圧測定などの看護業務を体験しました。参加した古城麻矢さん（玉名高校2年・八幡台4丁目）と栗原未有さん（有明高校3年・宮内出目）は、将来医療の仕事に就くことを目指しています。それぞれ「思っていたより大変だけど、やはり仕事にしたい」「きつそうですが、ぜひやってみたい」と、貴重な体験の感想を充実した笑顔で話しました。



上||毛布のカバーを力合わせて交換。下||古城さん（左）は「人の役に立ちたい」と看護師を目指して、栗原さん（右）は「お世話になったことがあり、あこがれている」というハピリ関係の職に就きたいと話した。